

大阪スマートシティ次期戦略策定及び推進に係る調査検討支援業務
事業者選定の結果について

令和7年6月23日（月曜日）

大阪スマートシティ次期戦略策定及び推進に係る調査検討支援業務について、公募型プロポーザル方式により提案募集を行った結果、下記のとおり事業者を選定しました。

記

1 最優秀提案事業者

KPMGコンサルティング株式会社

評価点 82 点（うち企画提案部分 77 点、価格提案部分 5 点；提案金額 6,600,000 円）

2 提案結果の概要

(1) 提案事業者 全2者（以下、申込順）

グラビス・アーキテクト株式会社

KPMGコンサルティング株式会社

(2) 最優秀提案事業者の選定理由

- ・業務推進の実施体制について、市町村や民間事業者との連携スキームを明らかにする具体的な提案であり、これまでの実績からその調整力にも期待できるため。
 - ・スマートシティの事例分析において、海外事例、国内事例ともに、調査対象及び比較観点が網羅的で、次期戦略を策定するにあたっての要素分析に長けていたため。
- ※次期戦略の策定に必要な各種調査については、独自の知見やノウハウを最大限に活かし、大阪府との事前協議に基づき早期に実行されたい。

(3) 選定委員会委員（順不同、敬称略、○印は議長）

所属	委員名	選任理由
大阪公立大学大学院 情報学研究科 基幹情報学専攻 教授	阿多 信吾 (○)	情報通信分野を研究領域とし、情報システム及びスマートシティ分野にも精通していることから、その専門的な知見により本業務の提案内容を審査していただくため。
公益社団法人関西経済連合会 常務理事・産業部長	久米 一郎	豊富なビジネス経験と知識を有し、特にビジネスモデルの具体化に必要な市場ニーズや実現課題などに精通していることから、本業務の提案内容の実現性および事業持続性を中心に、総合的に審査していただくため。
大阪弁護士会 (長野総合法律事務所)	崎原 卓	法律の専門家であり、企業情報の取扱いや公平性・公正性などコンプライアンスに精通しており、本業務の提案内容の法的妥当性について審査していただくため。